

三島ダム洪水吐復旧工事検討会（第2回） 議事概要

- 1 日 時 平成30年11月26日（月） 10時から14時
 - 2 場 所 千葉県庁南庁舎1階会議室（千葉市中央区市場町1-1）
 - 3 議 事
 - ・ 第1回検討会後の地質調査結果を踏まえた原因のとりまとめ
 - ・ 復旧対策方針（案）の検討 等
 - 4 検討会構成

委員長	<small>たなか</small> 田中	<small>ただつぐ</small> 忠次	東京大学名誉教授
委 員	<small>たかはし</small> 高橋	<small>ていいち</small> 禎一	元農林水産省地質官
委 員	<small>なつか</small> 長束	<small>いさむ</small> 勇	島根大学名誉教授
委 員	<small>たがしら</small> 田頭	<small>ひでかず</small> 秀和	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門施設工学研究領域 施設構造ユニット ユニット長
- 事務局 千葉県農林水産部耕地課事業計画室

5 議事概要

検討会では、以下のとおり会議を開催しました。

1) 以下の項目の報告を行いました。

- (1) 調査結果
- (2) 漏水の原因推定
- (3) 抜本的対策の検討

2) 報告内容について、以下のとおり委員から御意見をいただきました。

(1) 調査結果

- ・洪水吐の動態観測は、今後も注意深く行うこと。

(2) 漏水の原因推定

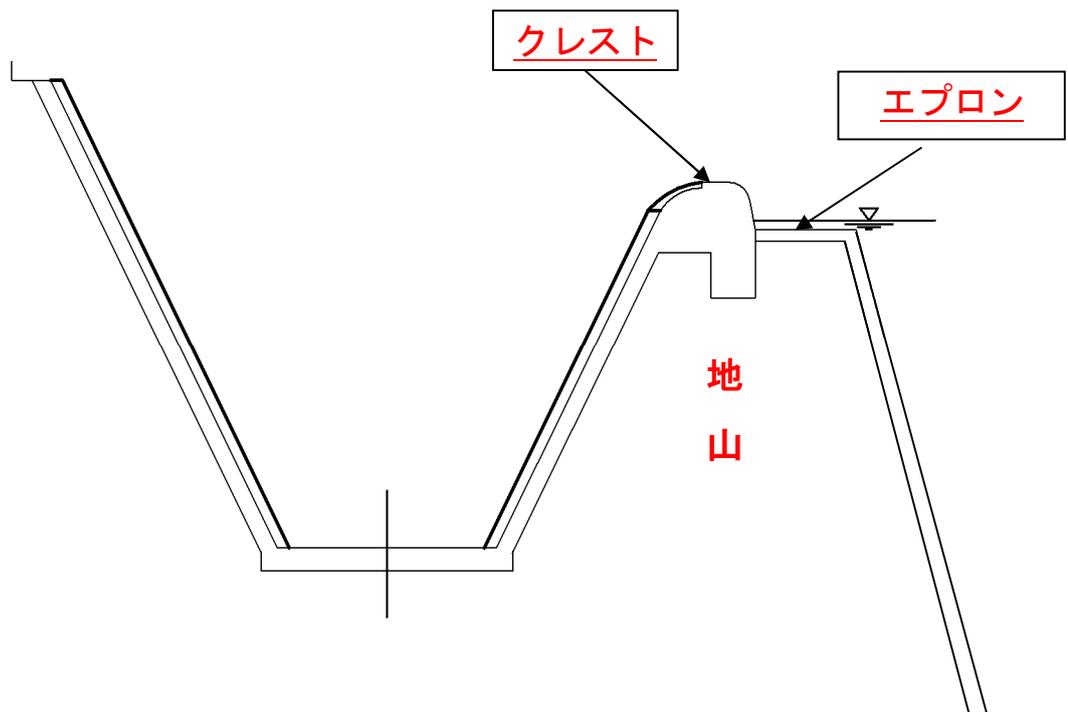
- ・今回の原因については、地山の解析結果からエプロン部、クレストの下部にひずみが生じやすい地山状態であるので、エプロン部下部からの浸水から地山が風化し、側壁と地山の隙間が形成され、漏水につながった。
- ・過年度に実施した側壁の補強対策との因果関係はないと考えられる。

(3) 抜本的対策の検討

- ・越流堰重力式（案2）を優先して採用する。実施に当たっては、数値解析モデルにより重力式（案1）とすることも考えられるので、十分検証すること。
- ・実施に当たっての留意点として、
 - ① ダム湖水面側の地形図（横断図）を作成する。
 - ② 底盤については、放水路の下流側についても施工時に調査を行うこと。
 - ③ 重力式の場合、マスコンクリートとして十分検討すること。
 - ④ 越流堰重力式の場合、一体構造とする時は、目地の設置等考慮が必要。

<参考>

①現在の標準断面



②抜本的対策の検討

対策案	断面形状 (最大断面)
第1案 (全体重力式)	<p>Diagram of the first alternative (Case 1) showing a gravity dam cross-section. The crest width is 1500 units. The upstream slope has a height of 8000 units and a slope ratio of 1:0.5. The downstream slope has a height of 9000 units and a slope ratio of 1:0.95. The crest is at an elevation of EL 82.00. The apron is 2000 units wide and 3000 units high. The ground level is indicated by a dashed line. The upstream toe is at an elevation of EL 74.00.</p>
第2案 (越流堰・重力式 +側壁)	<p>Diagram of the second alternative (Case 2) showing a gravity dam cross-section with a side wall. The crest width is 1500 units. The upstream slope has a height of 8000 units and a slope ratio of 1:0.5. The downstream slope has a height of 8000 units and a slope ratio of 1:0.95. The crest is at an elevation of EL 82.00. The apron is 2000 units wide and 3000 units high. The ground level is indicated by a dashed line. The upstream toe is at an elevation of EL 74.00. The side wall is 4000 units wide and 5000 units high. The crest is at an elevation of EL 82.00. The apron is 2000 units wide and 3000 units high. The ground level is indicated by a dashed line.</p>